

1月 行事予定

夢・希望・未来 笑顔いっぱい希望が丘！

日	曜	朝	学校行事等
1	月		冬季休業(12月26日～1月8日)
2	火		
3	水		
4	木	☆生活目標 ものを大切にしよう ☆保健目標 冬を健康・安全に過ごそう ☆給食目標 食事のマナーに気を付けよう	
5	金		
6	土		
7	日		
8	月	成人の日	
9	火	朝会	午前授業 給食なし 6年発育測定 5年書き初め 12:20下校
10	水	ぐんぐんタイム	午前授業 給食なし 5年発育測定 6年、4年書き初め 12:20下校
11	木	朝学習	給食開始 4年発育測定 3年書き初め
12	金	朝学習	2年発育測定 3年どんと焼き(ハッ橋幼稚園) 5年片品スキー宿泊体験学習保護者説明会
13	土		
14	日		
15	月	読書タイム(ブックルズ)	3年発育測定 校内書き初め展
16	火	朝学習	1年発育測定 小中合同授業研究会(全校4校時)
17	水	ぐんぐんタイム	個別級発育測定
18	木	朝学習	校内書き初め展
19	金	朝学習	避難訓練 クラブ活動 校内書き初め展
20	土		
21	日		
22	月	読書タイム	委員会活動 校内書き初め展
23	火	朝会	校内書き初め展
24	水	大縄集会	旭区授業研(全校4校時)
25	木	大縄集会	
26	金	大縄集会	避難訓練予備日 校内授業研(全校5校時)
27	土		
28	日		
29	月	読書タイム(ブックルズ)	クラブ活動(3年生見学)
30	火	朝学習	5年午前授業 13:20下校 新入生保護者説明会
31	水	ぐんぐんタイム(5年は5日)	5年片品スキー体験学習(～2日)

【スクール・カウンセラー来校日】 問合せ先：副校長または児童支援専任
1/19(金)・1/29(月)

【スクール・ソーシャル・ワーカー今後の来校日】 問合せ先：児童支援専任
1/23(火)・2/15(木)

お知らせ



☆給食週間について☆

1月15日(月)～26日(金)は給食週間です。自分の食事の様子を記録して振り返りをしたり、給食委員会主催の給食集会を行ったりしていきます。バランスのよい食事のとり方や、給食のよさ、感謝して食べる心についても考えていけるように取り組んでいきます。

☆校内書き初め展

12月号でもお知らせしましたが、子どもたちが新たな気持ちで取り組んだ力作が各教室前に展示されます。どうぞご覧ください。

保護者見学日時 1月15日(月)、18日(木)、19日(金)

22日(月)、23日(火)
午前 9:00～12:00 午後 13:30～16:00

☆避難訓練(19日)

今回の避難訓練は、1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災をうけ、授業時間中に震度6弱以上の地震が起きた場合の想定で行います。安全に素早く避難できるように訓練します。

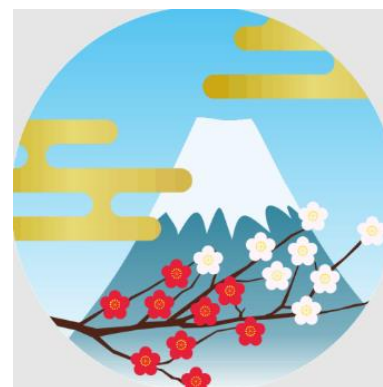
☆大縄集会☆

1月24日(水)～26日(金)に、大縄集会を予定しています。夏に実施してからも、計画を立てて練習に励んでいるクラスもあります。それぞれのクラスで立てた目標を達成できるように、協力しながら取組を進めていきます。

☆児童支援専任からのお知らせ☆

年が明けて、いよいよ進級も近づいてきました。2024年となり、子どもたちも新たな気持ちで頑張っていこうという思いになっているのではないのでしょうか。この3か月は今年度の総まとめの時期でもあり、新たな学年へ向けての準備の時期でもあります。先月の冬の面談で、担任と学校での様子や家庭での様子について情報共有されたことと思います。よかったところはより伸ばしていけるように、一方で、もう少し頑張れたところは少しでも意識して取り組んでいけるように、ご家庭でお子様とじっくりと話をさせていただきたいと思えます。その上で、何かありましたら、遠慮なくいつでもご相談ください。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



学校だより

きぼう

1月号



2024 1月9日
横浜市立希望ヶ丘小学校

子どもの心の健康

学校長 山本 美和

明けましておめでとうございます。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、昨年の本校教育活動にご理解、ご協力頂き、本当にありがとうございました。本年も、何卒よろしくお願い申し上げます。

新年を迎え、学校では6年生は卒業して中学校へ、在校生は1学年ずつ進級することを見据えて教育活動を行います。同時に、新入生を迎える準備も着々と進めてまいります。先月5日には、まこと幼稚園、15日にはハッ橋幼稚園の年長さんが来校し、1、5年生と「なかよし会」を行いました。来年度6年生としてペア学年になる5年生が学校案内をしたり、1年生がレクリエーションをしたりしました。緊張気味の園児たちに対し、やさしく相手の様子を見ながら交流する1、5年生の姿に心が温かくなりました。2月には、中希望が丘保育園、めぐみ幼稚園、横浜あさひ中央保育園、つぼみ保育園の年長児と、1、2年生との「なかよし会」を予定しています。

このような活動を通して、私たちは子どもたちの「心」の成長を実感しますが、一方でこの「心」そのものが健康でなければ、このような教育活動の効果は上がりませんし、学習にも前向きにはなれません。

ここ数年、子どもの心が見えづらいということを感じています。勉強が苦手だとか、友達関係でトラブルがあったなど具体的な課題は解決していくことができますが、「何となく保健室に行く」や「何となく学校に行きづらい」など分かりにくいことに対し、どのように寄り添っていくかが課題となっています。コロナの感染拡大により3年ほど社会生活や教育活動に制限があった影響なのか、子どもたちの心は、それ以前よりも複雑な悩みが多岐にわたっていると感じます。経験を重ねてメンタル面を強くしたり、人間関係の構築の仕方を学んだりするなど低学年からの積み重ねの少なさが影響しているかもしれません。

低学年では、まず心の存在に気付くところから始まります。「形はなくても、心というものがあり、自分の心と周りの心はそれぞれ違いがある」ということを理解していきます。しかし、低学年は心の不調をどう表現したらよいかは、なかなか難しいです。分かるようになるのは、中学年ぐらいからかと思えます。自分の気持ちを相手に伝えて共有したり、共感を得たりする経験も積み重ねていきます。高学年ぐらいになると、心を安定させ健康に保つためには、どんな生活をしたらよいか、睡眠、食事なども関係することなどが意識できるようになるかと思えます。

このような経験の積み重ねが十分でない子どもたちなので、まずは周囲の大人が行動や表情で察すること、判断することが必要になります。そこで、大事なのが「日常の健康観察」です。文部科学省の健康教育調査官の松崎美枝(初等教育資料2023.7 東洋館出版)は、『コロナ禍において、健康観察の重要性が再認識されたところです。日常の子どもの様子(顔色、表情等)が分かっていないと、「あれ、おかしい」という気付きにはならないと思います』と述べています。

学校では、登校した時の子どもたちの様子が昨日と変わっていないか(ケガ等も含む)、まずはしっかり健康観察を行うよう担任に伝えていきます。早期に気付くことが、場合によっては医療や関係機関に迅速につなげることができ、子どもが苦しい思いをする期間を短くするとともに、早期改善にもつながるからです。

これから年度末となり、進級・進学等の不安も増す時期です。ご家庭でも、朝「おはよう」と挨拶を交わした時の声の調子や、全体の様子を見ていただくよう、あらためてお願い申し上げます。